

「JR釧網線で行く！塘路ヒストリーツアー —自然、歴史、魅力—」 モニターツアーへの参加者を募集します！

旅行募集・実施および問合せ先 (一社) 釧路観光コンベンション協会 (担当: 佐藤・福永) (☎31-1993)

J R 釧網線の利活用促進や、市民の方々と避暑などのために来釧されている長期滞在者の方々の交流を目的として、モニターツアーを実施します。

今回の行き先は、数々の小説や映画の舞台にもなっている標茶町・塘路地区です。雄大な自然、そしてその大自然に根づくアイヌ文化、明治期に開設された監獄である釧路集治監本館（現在は標茶町博物館の一部）等、見どころ満載の地域です。“塘路地区の歴史”をテーマにさまざまな講義をご用意する他、標茶町特産の「星空の黒牛」を使用したお弁当も堪能できます。

詳細・申し込みについては上記の問合せ先までお問い合わせください。
※当日は、山道を歩く場面がありますので、歩きやすい服装・靴でお越しください。
※ツアーの内容は一部変更となる可能性があります。
※新型コロナウイルス感染症の感染対策を十分に行った上で催行します。



▲詳しくはこちらから

催行日 9月1日(水)
申込期間 8月10日(火)～8月13日(金)
定員 30人(先着順) ※市民の方から15人、長期滞在者の方の中から15人をそれぞれ募集します。※定員以上の申し込みがあった場合は抽選。
行程 釧路駅 (J R 釧網線) → 茅沼駅 → サルボ展望台 → 北海道集治監釧路分監本館 (標茶町博物館「ニタイ・ト」) → 釧路駅 → 釧路市役所 ※釧路駅もしくは市役所で下車可
参加費 大人3,000円 小・中学生1,500円 (小学生未満無料)
企画 くしろ長期滞在ビジネス研究会 (事務局: 釧路市市民協働推進課)
後援 J R 釧網本線維持活性化沿線協議会



▲塘路湖



▲標茶町博物館「ニタイ・ト」



▲北海道集治監釧路分監本館



▲サルボ展望台

パキタと探検!

7/10 sat
→ 9/5 sun

くしろいっぴい
びじゅつかい
キャラクター

パキタ

ガラスの不思議

ヴェネチアン・ガラスと絵画の世界

ART GALLERY

①

②

③

④

- こすぎ こじろう
①小杉小二郎 《ムラノの朝》2009年
おくたにひろし
②奥谷博 《鯨》2009年
やすもとりゅうすけ
③安元亮祐 《風》2000年
きとうたいせい
④佐藤泰生 《猫の中のベニス》2009年

～9月5日(日)

午前10時～午後5時 ※月曜日休館 (8月9日(月)を除く)
観覧料 800 (600) 円、大学生以下無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方および付き添いの方 (1人まで) は無料。
※ () は前売券および10人以上の団体料金。

パキタと探検! ガラスの不思議 ヴェネチアン・ガラスと絵画の世界

本展では、日本の第一線で活躍する画家たちがデザインし、ヴェネチアの職人たちが制作を手掛けたユニークなガラス作品を紹介します。

ガラス作品は、93 (平成5) 年から始まった日動画廊のプロジェクトによって生まれました。仕事を委嘱された画家たちは、自身の作風を反映した原画を描き、イタリアのムラノ島の工房「ピノッチオ・アート・イン・ガラス」の職人たちが、長年培ってきた技術とセンスを注いで完成させました。日本の画家たちの感性とイタリアの伝統的な工芸技術が織りなす、類いまれなる作品の数々をお楽しみください。

展覧会の見どころ

- 日本の画家×イタリア職人のコラボレーション
- ガラス作品とともに画家の絵画も展示
- パキタと一緒にガラスの学習



こすぎこじろう
絹谷幸二
《愛うつろい》1987年



かなもりいし
金森幸司
《ライフ「メトロを待つ」》1993年



しまだあゆみ
島田鮎子
《コンポジションII (花皿)》2009年



おおのまてるお
大沼映夫
《大和思考》1994年

釧路市立美術館

まなぼつと幣舞3階
(幣舞町4-28 ☎42-6116)